

# 理論が支える教育実践



前年度に引き続き「学び方を知る展示」が始まりました。第6回目となる今年度最初の学び方を知る展示は、本学大学院の宮原先生に協力をお願いしました。昨年度第3回で学校臨床教授の横藤雅人先生に「教職スタート」と銘打って初任の学校教員へ向けた図書を紹介いただきましたので、今回は次のステップとして中堅～ベテラン教員のための、授業実践を支える図書を紹介する資料展示です。

大学院で勉強する院生のみならず、学部生もいずれは通る道。悩んだときに役立つ図書があることを知ってください。

## 第6回 宮原 順寛 (みやはら のりひろ) 先生

大学院教育学研究科学校臨床心理専攻准教授 専門:教育方法学(授業研究)



大学院・学校臨床心理専攻の宮原順寛です。学部の授業を担当しない独立専攻の大学院のみを担当する教員です。よく間違われることが二つあります。一つは教職大学院の教員だという勘違い、もう一つは心理学の専門家だという勘違いです。学校臨床心理専攻には心理学者だけではなくて私のような教育学者もいて、学際的に学ぶことができる専攻となっています。宮原の研究領域は、教育学のなかの教育方法学です。教育方法学は教育実践に関わる目的・内容・方法に関する領域を

広く扱いますが、特に専門としているのは授業研究です。日常的に小中学校の授業をはじめとした教育実践を参観して、現場の先生方と検討会を行っています。また、臨床教育学や現象学的教育学の領域についても研究しています。



今回の附属図書館札幌館の学び方展に際しては、学校現場で数年から数十年を経験した先生方に推薦したい本という観点から選書しました。これらの本の選書には、特色の異なる2つの源泉があります。

ひとつめの源泉は、教員免許更新講習です。この10年ほどの間、日本では、教育職員免許状を授与されてから10年ごとに講習を受けなければならない制度があります。私としては「悪法もまた法なり」の心持ちで講師を務めていますが、やるからには深い内容と語り合いの体験を生み出す講習をしたいと考えています。幼稚園・小・中・高等学校・特別支援学校・養護教諭・栄養教諭等と校種や職種の異なる先生方、さらには教職に就いて10年目・20年目・30年目という幅広い世代にわたる先生方に、教育実践を省察的に捉え直すためのお話をしています。その際、教育実践と子ども理解に関する多岐にわたる話題について、限られた時間できっかけとなる話題を提供し、講習後に興味がある領域の本を読んでいただくことをねらいとして、講習で使用するPowerPoint資料に出典を示す註記をつけて紹介しています。今回の展示では、本棚に向かって左半分の本(5~84番)が主にこの講習で使用した文献にあたります。



もうひとつの源泉は、大学院・学校臨床心理専攻の双方向遠隔講義「臨床教育学質的研究法」です。札幌校・旭川校・釧路校・函館校を通信回線で結



んだ、後期木曜6限目の授業です。修士論文を書くための基礎的な研究方法論を学ぶために、学校などでの日々の仕事を終えた院生たちが駆けつけて受講しています。量的研究は、統計的分析などの方法を学んで、大学の卒業論文などでも取り組んでいる方もあるかもしれ

ません。一方で、質的研究は、研究方法を自分のテーマに合わせてその都度その都度にオーダーメイドで作り直していく必要があります。そのため

宮原先生の著作は、リスト5番目と9番目の図



書に掲載されています。論文は CiNiiArticles で先生のお名前で検索してみてください。



には、個々の研究手法だけではなく、それを支える哲学や科学観・学問観にまで視野を広げる必要が出てきます。「こんなことで悩んでいるのは私だけではないか」「この学級のことを記述しても、単なる一事例に過ぎないのではないか」「比較実験的な手法は教育実践では難しい」「私の修士論文には意味が無い」といった研究上の嘆きを、むしろ質的研究の原動力に変えたいと願って、科学哲学や現象学や解釈学などを中心に本を紹介しています。

なお、この展示は、最初から完成した姿で図書館利用者の皆さんにお披露目するという方式ではつくられていません。そうではなくて、夜のアルバイトの学生さんを含めた附属図書館札幌館のカウンターのスタッフの皆さんと宮原とが対話を繰り返して、本棚に少しずつ本を展示しながら並べ替えや入れ替えを行うという「生成的方法」で創られました。決して量的な冊数の多さにこだわったわけではなく、うまく削れないままに一応の完成となったという状況です。なんとか曲がりなりにも一区切りとしたところで、偶然に123冊になりました。POPの書き換えや追加なども行いながら展示は日々成長していきました。この展示のためのポスターやパンフレット等の製作を含めた企画を進めていただき、辛抱強く宮原のこだわりと遅筆にお付き合いいただいた附属図書館札幌館のスタッフの皆様にご礼申し上げます。

末筆となりましたが、これから大学・大学院を巣立つ皆さんに声援を送ります。教育実践に行き詰まったときほど、自分自身が経験し感じている物語を語るために大学の研究室や附属図書館に戻ってきてください。理論研究と実践研究とをつなぐ教育的タクトを一緒に紡ぎ出したいと思います。



展示開始から、次々と本が借りられています。

今回、宮原先生にご協力をお願いしたときに、たくさんの学校に行き現場の教員とともに授業研究を行っている先生ならではの、興味深いお話を聞かせていただきました。印象に残ったのは、実践には理論の支えが必要だということでした。

教育現場や授業のこと、教員として生きていくこと、子どもの状況などの実践的図書から、理論のための研究方法の図書、科学的な考え方を培う図書、計123冊の図書を紹介いただきました。宮原先生のオススメコメント付きでどうぞ。



1		上を向く少年と下を向く少年 / 高橋俊英絵と文 - 文芸社, 2017.9 同年のいとこが苦節 25 年で絵本作家になりました。いつも下を向いているダリル少年は宮原がモデルではないかと思えます。
---	---	--

2.	水俣：写真集 / W.ユージン・スミス, アイリーン M.スミス著/中尾ハジメ訳 - 三一書房, 1980.1 宮原の故郷は熊本県水俣市の隣町です。 公害と差別の問題の典型的な事例として人類の記憶に残しておいてほしい教訓です。 この写真集に掲載された有名な「入浴する智子と母」(138-139 頁)の著作権と肖像権を巡る議論についてはどうか調べてみてください。
----	---

3		読んでいない本について堂々と語る方法 / ピエール・バイヤール著/大浦康介訳 - 筑摩書房, 2008.11 この本、読みました。いや、読んだつもりです。あれっ、読んだっけ？ (真面目な内容紹介は、守屋淳氏による「図書紹介」(北海道臨床教育学会編、『北海道の臨床教育学』第6号、2017年、99頁)をご覧ください。読書観だけではなく人間理解とは何かまで変革される名著とのことです。)
---	---	--

<p>4</p> 	<p>りんごかもしれない / ヨシタケシンスケ作 - ブロンズ新社, 2013.4</p> <p>これは現象学の本かもしれない。おいしいかもしれない。</p>
---	---

## 教育方法学・教師論・授業研究



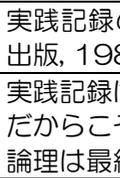
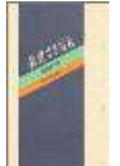
<p>5</p>  <p>宮原先生の著作 は第2部第2章</p>	<p>いま求められる授業づくりの転換 (学習集団研究の現在:Vol.1) / 深澤広明, 吉田成章責任編集 - 溪水社, 2016.9</p> <p>暴力的で画一的な指導に陥らないための多様性の時代の授業づくりと学級づくりを再検討した本です。第2部の実践記録とその解説編から見ていただくと、どの章の実践が自分好みか探ることができるのではないのでしょうか。</p>
---	---

<p>6</p> 	<p>授業観の変革：まなざしと語りと問いかかけを (教育選書) / 吉本均著 -- 明治図書出版, 1992.5</p> <p>否定の中に肯定を見る。1人の中にもう1人の自分を見る。「達成」と「達成感」はどう違う？呼びかける指導案で授業の中に子どもたちの居場所をつくるための示唆に富んだ本です。</p>
--	---

<p>7</p> 	<p>ドラマとしての授業の成立 (教師の力量を高める研修講座:10) / 吉本均著 - 明治図書出版, 1983.5</p> <p>出席から参加へ。授業づくりと子ども理解を「演劇的な知」に学びながら捉え直している本です。</p>
--	--

<p>8</p> 	<p>授業研究重要用語 300 の基礎知識 (重要用語 300 の基礎知識:2) / 恒吉宏典, 深澤広明編集 - 明治図書出版, 1999.8</p> <p>1 ページ 1 項目で授業と学級づくりに関する 300 のキーワードが解説されています。たとえば、「規律」と「きまり」はどう違うか、巻末の索引から調べてみましょう。</p>
--	--

<p>9</p>  <p>宮原先生の著作 は第10章です</p>	<p>新しい時代の教育の方法 (シリーズ現代の教職:4) / 山下政俊, 湯浅恭正編著 - ミネルヴァ書房, 2012.2</p> <p>選評だけでなく自著も挙げよと言われれば、この本の第10章「情報メディアと教育方法」を挙げます。章題に反して、内容は教師論です。</p>
---	--

10		<p>実践記録の分析方法（授業と生活指導:7） / 大西忠治著 - 明治図書出版, 1984.8</p> <p>実践記録は必ず実践の美化を含み込む、と著者は言います。そして、だからこそ、実践記録から学ぶことができるのだと主張します。この論理は最終章で解き明かされます。</p>
11.		<p>よい教育とはなにか：倫理・政治・民主主義 / ガート・ビースタ著/藤井啓之, 玉木博章訳 - 白澤社/現代書館(発売), 2016.1</p> <p>エビデンス（量的証拠）に縛られた教育のどこが問題なのかを示し、教育の目標（どんな人間を育てたいのか）を再び語り合おうと呼びかけている本です。</p>
12		<p>どのような教育が「よい」教育か（講談社選書メチエ:507） / 苫野一徳著 - 講談社, 2011.8</p> <p>よい教育とは何かを一つに決定できないとしても、よい教育とはなにかについて考え対話し続けることを教師たちが諦めないでほしい。</p>
13		<p>教師になること、教師であり続けること：困難の中の希望 / グループ・ディダクティカ編 - 勁草書房, 2012.9</p> <p>「学校は、なぜこんなにも評価まみれなのか」（第2章：松下佳代氏）など、学校現場の困難を国際的な視野と実践のリアルをつないで検討している本です。</p>
14		<p>公立中学校の挑戦：授業を変える学校が変わる：富士市立岳陽中学校の実践 / 佐藤雅彰, 佐藤学編著 - ぎょうせい, 2003.11</p> <p>中学校の改革を妨げているのは「部活指導」と「生徒指導」と「進路指導」である、という巻頭論文の佐藤学氏の主張への反論を考えてみましょう。</p>
15		<p>教育する勇気 / 和田修二著 -- 玉川大学出版部, 1995.2</p> <p>中身もいいけれど題名がいい。本棚に置いておくと、この困難な時代の不完全な教師である「にもかかわらず」教育するという勇気が湧いてきます。</p>



16		学びをつむぐ：「協働」が育む教室の絆 / 金子奨著 - 大月書店, 2008.6 ある「超底辺校」の高校での学校改革を綴った本です。授業どころではないたいへんな状況であるからこそ、一人ひとりが自分ごととして考えられる課題と友達と関わりながら学び合う授業づくりが改革の鍵となりました。
----	--	--

17		教育の現象学：授業を育む子どもたち / 中田基昭著 -- 川島書店, 1996.7 「客観的授業研究とは、己れの作った尺度で己れ自身を計るようなものでしかない」(239頁)。だから現象学的な授業の見方が求められるのです。
----	--	---

18		街場の教育論 / 内田樹著 - ミシマ社, 2008.11 師匠は弟子よりも技芸に優れている必要は無く、むしろ「私には師匠がいる」と思うことで弟子は無限に成長するという発想こそが、学びの極意です。
----	--	---

19		マトリックス 特別版 / ジョエル・シルバー製作/ウォシヤウスキー兄弟監督 - ワーナー・ホーム・ビデオ (発売), c1999 内田樹著『街場の教育論』の56頁あたりにこの映画のことで師弟関係論が論じられています。
----	--	---

20		教師花伝書：専門家として成長するために / 佐藤学著 - 小学館, 2009.4 「無限定性」「無境界性」「不確実性」という教職の特徴を、省察的実践家としての専門性に方向付ける指南書です。世阿弥の『風姿花伝(花伝書)』の現代版・教師版にあたります。
----	--	---

21		養護教諭の社会学：学校文化・ジェンダー・同化 / すぎむらなおみ著 - 名古屋大学出版会, 2014.6 養護教諭が書いた博士号論文です。大学院に入学してきた養護教諭に見せたところ、皆さん(5人中5人)が購入されている本です。
----	--	--

22		教師というアポリア：反省的实践へ / 佐藤学著 - 世織書房, 1997.10 94-100 頁あたりの「再帰性」「不確実性」「無境界性」という教職の特徴の分析はご一読ください。
----	--	--

23		再生産論を讀む：バーンステイン、ブルデュー、ポールズ=ギンティス、ウィリスの再生産論 / 小内透著 - 東信堂, 1995.7 あなたの成功はあなたの努力の結果なのか？「文化資本」や「社会関係資本」や「経済資本」がなければ、個人や学校だけの努力では学歴社会での成功を収めることは難しい。家庭間の格差が広がっている時代に、その仕組みを読み解くこの一冊を読んでおきたい。
----	---	--

24		多元化する「能力」と日本社会：ハイパー・メリトクラシー化のなかで (日本の「現代」:13) / 本田由紀著 - NTT出版, 2005.11 学歴社会あるいは能力主義の今日的な捉え直し。
----	---	--

25		「つながり格差」が学力格差を生む / 志水宏吉著 - 亜紀書房, 2014.4 学校の困難を先生のせいだけにしない。たいへんな学校でこそ、子どものつながりと学力を大事にしたい。
----	---	---



## 承認不安の時代と臨床教育学

26		教室内 (スクール) カースト (光文社新書:616) / 鈴木翔著 - 光文社, 2012.12 第2章のいじめとスクールカーストの対比的な考察は、これらの問題の概説としてよくまとまっていると思います。
----	---	---

27		友だち地獄：「空気を読む」世代のサバイバル (ちくま新書:710) / 土井隆義著 - 筑摩書房, 2008.3 地雷原のような教室で互いに直接向き合わない「優しい関係」を維持しようとするから、そこから目をそらすためのいじめが始まる、とこの本は読み解いています。そして、友だち地獄の源泉は自分に価値を見出したいが困難であるという焦りと不安だと言うのです。
----	---	--

<p>28</p> 	<p>友だち幻想：人と人の「つながり」を考える (ちくまプリマー新書:079) / 菅野仁著 - 筑摩書房, 2008.3</p> <p>「価値観が百パーセント共有できるのだとしたら、それはもはや他者ではありません。」(128頁) 喜びと悲しみの源泉である他者について、友だちや家族や恋愛を例にしながら考えてくれる本です。</p>
---	---

<p>29</p> 	<p>反「絆」論 (ちくま新書:1103) / 中島義道著 - 筑摩書房, 2014.12</p> <p>「自分の『わがまま』を抑えて他人すなわち『みんな』を気づかうというまじめな美德そのものが、しらすしらすのうち一定の信念以外の信念を、一定の感受性以外の感受性を、一定の行動以外の行動を拒否する態度を呼び起こす。」(203頁)</p>
---	--

<p>30</p> 	<p>「個性」を煽られる子どもたち：親密圏の変容を考える (岩波ブックレット:No.633) / 土井隆義 [著] - 岩波書店, 2004.9</p> <p>「個性が輝く学校」というスローガンには個性がありません。そもそも個性は結果であって目的や手段ではないのではないのでしょうか。个性的であることが難しいからこそ、主義主張ではなくて、友人との関係性を維持することそのものが子どもたちの最重要課題になってしまうのではないかと気づかせてくれる本です。</p>
---	---

<p>31</p> 	<p>「認められたい」の正体：承認不安の時代 (講談社現代新書:2094) / 山竹伸二著 - 講談社, 2011.3</p> <p>自分探しが許される時代は、逆説的に、自分に対する社会的承認が得られにくい時代です。自分が他者から欲望されること、すなわち、承認されることを目指して、人は葛藤して生きています。しかし、「空虚な承認ゲーム」に陥っていませんか？</p>
---	--

<p>32</p> 	<p>人間形成と承認：教育哲学の新たな展開 / ローター・ヴィガー, 山名淳, 藤井佳世編著 - 北大路書房, 2014.7</p> <p>他者から承認されることや軽んじられることの経験は自己生成にとってどんな意味を持っているのでしょうか？ (92頁参照)</p>
---	--

<p>33</p> 	<p>自分の弱さをいとおしむ：臨床教育学へのいざない / 庄井良信著 - 高文研, 2004.6</p> <p>弱さの教育学は、北海道でこそしっかりと根を張ることができると思わせてくれる一冊です。著者は、本学の大学院・学校臨床心理専攻の専攻長・教授です。</p>
---	---

<p>34</p> 	<p>揺れる子どもの心象風景：心の深層世界を読みひらく (フォーラム21) / 庄井良信著 - 新読書社, 1999.8</p> <p>「早く、たくさん、正確に」の価値観の捉え直しのあたりは、よく講演で引用しています。</p>
---	---

<p>35</p> 	<p>子ども理解のカンファレンス：育ちを支える現場の臨床教育学 / 福井雅英著 - かがわ出版, 2009.10</p> <p>渾身の力を振り絞ってこの本の書評を書きました。北海道臨床教育学会紀要『北海道の臨床教育学』、創刊号、2012年、52-53頁をご覧ください。なお、福井雅英氏は、本学の教職大学院の元・院長でもあります。</p>
---	--

先生、本を手にもスゴク嬉しそうですね(^^)



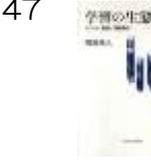
感情労働・保護者対応・教育の社会学



<p>36</p> 	<p>新採教師の死が遺したもの：法廷で問われた教育現場の過酷 / 久富善之, 佐藤博編著 - 高文研, 2012.4</p> <p>彼女を追い詰めたのは「いつでも相談に来てください」という一言でした。</p>
---	--

<p>37</p> 	<p>管理される心：感情が商品になるとき / A.R. ホックシールド著/石川准, 室伏亜希訳 - 世界思想社, 2000.4</p> <p>世に「感情労働」という概念を提起した本です。精神労働でも肉体労働でもなく、対人援助の仕事は全て感情労働である、と提起しています。旅客機の客室乗務員の笑顔は感情労働がゆえに勤務後も貼り付いて剥がれないという事例も紹介されています。</p>
---	---

38		感情と看護：人とかかわりを職業とすることの意味（シリーズケアをひらく） / 武井麻子著 - 医学書院, 2001.3 「感情労働」を日本の看護師の事例で考えた本です。
39		保育における感情労働：保育者の専門性を考える視点として / 戸田有一 [ほか] 編著 - 北大路書房, 2011.1 「感情労働」の肯定的な側面を描き出そうとした本です。
40		ケアの社会学：当事者主権の福祉社会へ / 上野千鶴子著 - 太田出版, 2011.8 「感情労働」というキーワードについて批判的に考えるのであれば、150頁～151頁の上野氏の論考を参照してみてください
41		フェミニズムの政治学：ケアの倫理をグローバル社会へ / 岡野八代 [著] - みすず書房, 2012.1 他者に依存せずに自立しようとする、他者への依存状態を否認するために、他者をモノとして扱おうとしてしまう(205頁)というあたりは、今の宮原の関心事でもあります。
42		親はモンスターじゃない!：イチャモンはつながるチャンスだ / 小野田正利著 -- 学事出版, 2008.7 保護者のことが怖くて信じられなくなる前に読んでおきたい本です。教師の多忙さについても迫っています。
43		それでも親はモンスターじゃない!：保護者との向き合い方は新たなステージへ / 小野田正利著 -- 学事出版, 2015.8 職員室の白い丸テーブルが撤去されてから、この悲劇は起こりました (170-175頁参照)。
44		普通の教師が普通に生きる学校：モンスター・ペアレント論を超えて / 小野田正利著 - 時事通信出版局/時事通信社 (発売), 2013.3 「倒れないでくれ! 教え子たちよ」(142頁)というのは教育大学の多くの教員の願いではないでしょうか。

<p>45</p> 	<p>幸せのための教育 / ネル・ノディングズ著 - 知泉書館, 2008.4</p> <p>「幸せな教師は、幸せな子どもを育てるでしょう。」(315頁)だから、教師の幸せも大事なのです。アメリカ教育哲学会の重鎮の語りは、ケアを対人関係だけに留めておきません。</p>
<p>46</p> 	<p>職場学習論：仕事の学びを科学する / 中原淳著 - 東京大学出版会, 2010.11</p> <p>企業の課長クラスであれば知っているはずと言われる部下への「業務支援」と「精神支援」に加えて、立ち止まって省察を促す「内省支援」が組織の成長発達の鍵だと提起する本です。</p>
<p>47</p> 	<p>学習の生態学：リスク・実験・高信頼性 / 福島真人著 - 東京大学出版会, 2010.8</p> <p>試行錯誤できる職場は実は安全で、マニュアル化された職場は危険、という見解が、原子力発電所の事故の1年前にこの本の中で提起されています。</p>
<p>48</p> 	<p>学力を育てる (岩波新書:新赤版 978) / 志水宏吉著 - 岩波書店, 2005.11</p> <p>この本の中から「学力のフタコブラクダ現象」のグラフを探してみましょう。</p>
<p>49</p> 	<p>シングルマザーの貧困 (光文社新書:724) / 水無田気流著 - 光文社, 2014.11</p> <p>クラスの8人に1人は一人親世帯で、シングルマザー世帯は一般世帯の3割しか所得がないそうです。</p>
<p>50</p> 	<p>弱者の居場所がない社会：貧困・格差と社会的包摂 (講談社現代新書:2135) / 阿部彩著 - 講談社, 2011.12</p> <p>ヨーロッパにおける就労支援は、「働かざる者食うべからず」ではなくて、あくまで社会的な役割と承認を得るための社会的包摂の観点から行われます (111頁)。</p>
<p>51</p> 	<p>日本の不公平を考える (岩波新書:新赤版 1157. 子どもの貧困:[1]) / 阿部彩著 - 岩波書店, 2008.11</p> <p>幼児教育が豊かであれば40歳時の所得が有意に向上するという研究結果が紹介されています。</p>

<p>52</p> 	<p>「分かち合い」の経済学 (岩波新書:新赤版 1239) / 神野直彦著 - 岩波書店, 2010.4</p> <p>もともと「経済」とは「経世済民」の略語だと伝えられています。前任校の経済学部では、「経済学は愛だ」と学生は教えられていました。</p>
<p>53</p> 	<p>子どもの貧困：子ども時代のしあわせ平等のために / 浅井春夫, 松本伊智朗, 湯澤直美編 - 明石書店, 2008.4</p> <p>貧困は、単に物が買えないだけではなく、社会参加と将来への見通しと誇りを持った人生を奪います (52 頁参照)。</p>
<p>54</p> 	<p>排除する社会・排除に抗する学校 オンデマンド版 / 西田芳正著 - 大阪大学出版会, [2012.3]</p> <p>排除しないということは、前評判が悪い教師が異動してきても「戦力外」にしてしまわないことでもあります (271 頁参照)。</p>
<p>55</p> 	<p>あなたは当事者ではない：「当事者」をめぐる質的心理学研究 / 宮内洋, 今尾真弓編著 - 北大路書房, 2007.9</p> <p>この本の西城戸誠論文の『あなたは当事者ではない』と言われることへの不安から「調査すればするほど当事者に近づけない自分の再認識」までの一連の流れの考察を、フィールドワークをする方には読んでいただきたいです。</p>
<p>56</p> 	<p>「当事者」をめぐる社会学：調査での出会いを通して / 宮内洋, 好井裕明編著 - 北大路書房, 2010.10</p> <p>この本の中根成寿論文の「立ち去ることが許された研究者の義務」の考察は講義でもよく取り上げて語っています。</p>
<p>57</p> 	<p>みんなの当事者研究(臨床心理学. 増刊, 9号) / 熊谷晋一郎著 -- 金剛出版, 2017.8</p> <p>「みんな」は「当事者」なのか、と、題名読みから疑問を感じた方には巻頭の熊谷晋一郎氏と國分功一郎氏の対談がおすすめです。</p>



<p>58</p> 	<p>当事者主権 (岩波新書:新赤版 860) / 中西正司, 上野千鶴子著 - 岩波書店, 2003.10</p> <p>当事者の自己決定権について高らかに宣言した本です。その後の展開の批判的考察を記した、上野『ケアの社会学—当事者主権の福祉社会』(2011年)と合わせて読んでみてください。</p>
---	---

<p>59</p> 	<p>当事者研究の研究 (シリーズケアをひらく) / 石原孝二編 - 医学書院, 2013.2</p> <p>北海道の浦河町の「べてるの家」の精神障害者自身による当事者研究活動は、全国的な研究の関心事になっています。アルコール依存・薬物依存等の事例、発達障害の事例、肢体不自由の事例など、当事者研究はその対象の広がりや内容の深まりを見せています。</p>
---	---

<p>60</p> 	<p>教育のトーン / ヴァン・マーネン [著]/岡崎美智子, 大池美也子, 中野和光訳 - ゆみる出版, 2003.8</p> <p>教師だけではなく子どもと対面する全ての大人たちにとっての思慮深さと教育的タクトについて、カナダの教育学者マックス・ヴァン＝マーネン(姓はヴァン＝マーネン)が、エピソードを重ねながら語ります。</p>
---	---

<p>61</p> 	<p>生きられた経験の探究：人間科学がひらく感受性豊かな「教育」の世界 / マックス・ヴァン＝マーネン著/村井尚子訳 - ゆみる出版, 2011.1</p> <p>現象学的教育学についての体系的な入門書です。巻末の用語集の解説も充実しています。</p>
--	--

省察的実践・エピソード記述・暴力論・その他 

<p>62</p> 	<p>なぜエピソード記述なのか：「接面」の心理学のために / 鯨岡峻著 - 東京大学出版会, 2013.7</p> <p>人と人との間で起こることについての客観的な調査に飽き足りない方は、質的な研究方法論の基盤から語り直したこの本を手にとってみてください。</p>
---	--

63		<p>エピソード記述を読む / 鯨岡峻著 - 東京大学出版会, 2012.3</p> <p>「一回余分に洗濯をすれば すむことですよね」(94-107頁)こそ、エピソード記述の典型例です。</p>
64		<p>関係発達論から捉える死 / 近藤恵著 - 風間書房, 2010.2</p> <p>鯨岡峻門下でエピソード記述を用いて博士論文を書いたかたの出版物です。</p>
65		<p>関係の中で人は生きる：「接面」の人間学に向けて / 鯨岡峻著 - ミネルヴァ書房, 2016.11</p> <p>「一人の人間の生き様のもつ重みは、決して安易な一般化を許しません。」(375頁)というところに強く共感します。</p>
66		<p>ひとがひとをわかるということ：間主観性と相互主体性 / 鯨岡峻著 - ミネルヴァ書房, 2006.7</p> <p>エピソード記述の基盤的理論である現象学に基づく間主観性の考究がなされています。</p>
67		<p>ガルトゥングの平和理論：グローバル化と平和創造 / ヨハン・ガルトゥング著/木戸衛一, 藤田明史, 小林公司訳 - 法律文化社, 2006.8</p> <p>広島では8月6日、長崎では8月9日は登校日です。北海道では、いつ平和について学ぶのでしょうか。</p>
68		<p>子どもと暴力：子どもたちと語るために (岩波現代文庫・社会:210) / 森田ゆり著 - 岩波書店, 2011.1</p> <p>なぜ子どもに対して暴力をふるってはいけないのかについての6つの理由が書かれています。</p>
69		<p>体罰の研究 / 坂本秀夫著 -- 三一書房, 1995.9</p> <p>学校の中にある「体罰を支える強固な基盤」が4つ挙げられています (302-303頁参照)。</p>



<p>70</p> 	<p>犯罪は「この場所」で起こる (光文社新書:219) / 小宮信夫著 - 光文社, 2005.8</p> <p>『割れ窓理論』の翻訳者である小宮氏が、ニューヨークの治安がよくなったのは警察がゼロトレランスを実施したからではないと書いています。</p>
<p>71</p> 	<p>子どもが会う犯罪と暴力：防犯対策の幻想 (生活人新書:191) / 森田ゆり著 - 日本放送出版協会, 2006.9</p> <p>「早くおうちに帰りなさい」と近隣の子どもに注意したら不審者と見なされて逮捕されてしまった事例も書かれています。</p>
<p>72</p> 	<p>暴力 (思考のフロンティア) / 上野成利著 - 岩波書店, 2006.3</p> <p>大量虐殺と教室での暴力とをつなげて考えるのは暴論でしょうか？ 巻末の文献案内も充実しています。</p>
<p>73</p> 	<p>ボランティア：もうひとつの情報社会 (岩波新書:新赤版235) / 金子郁容著 - 岩波書店, 1992.7</p> <p>弱さや傷つきやすさ(ヴァルネラビリティ)こそが情報の通り道であり行動のきっかけである。</p>
<p>74</p> 	<p>教育学がわかる事典：読みこなし使いこなし活用自在 / 田中智志著 - 日本実業出版社, 2003.5</p> <p>子どもたちが置かれている環境を考えると、「文化資本」や「社交資本」(72-73 頁) の見方は有用です。</p>
<p>75</p> 	<p>発達障害の臨床から日常の連携へ (支援から共生への道:[1]) / 田中康雄著 - 慶應義塾大学出版会, 2009.9</p> <p>教育の医療化について、現在は札幌市内で開業している児童精神科医が警鐘を鳴らしています。</p>
<p>76</p> 	<p>希望を共有する精神医療を求めて (支援から共生への道:2) / 田中康雄著 - 慶應義塾大学出版会, 2016.11</p> <p>不登校の避難場所として家を選んだ我が子を親は誇りに思っしてほしい (37 頁参照) という著者からのメッセージが心に滲みます。</p>

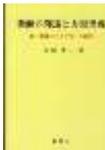
<p>77</p> 	<p>子どもの参画：コミュニティづくりと身近な環境ケアへの参画のための理論と実際 / ロジャー・ハート著/IPA 日本支部訳 - 萌文社, 2000.10</p> <p>授業だけではなく学校行事や地域行事において、子どもが主体的に「参加している」というのはどのような状態でしょうか。「参加」を一歩進めた「参画」にまで提案をしています。「参加参画の梯子(はしご)」の図は有名です。入り口は環境教育ですが、全ての教育活動において参照したい論者です。</p>
---	--

<p>78</p> 	<p>進歩主義教育の終焉：イングランドの教師はいかに授業づくりの自由を失ったか / ロイ・ロウ著 - 知泉書館, 2013.6</p> <p>副題の「イングランドの教師はいかに授業づくりの自由を失ったか」が物語るような英国の学校と教師を取り巻く実情を、新聞記事なども含めて詳しく描写しています。他人ごとではない恐ろしさを感じます。</p>
---	---

<p>79</p> 	<p>「あたりまえ」を疑う社会学：質的調査のセンス (光文社新書:243) / 好井裕明著 - 光文社, 2006.2</p> <p>「あなたはどんな差別を受けてきましたか」という質問をしてしまった失敗談(121-125頁参照)をインタビュー前にこの本の中で追体験しておきたい。</p>
---	---

<p>80</p> 	<p>子ども支援学 研究の視座 / 安部芳絵著 - 学文社, 2010.4</p> <p>「参加」「参画」を主張する論者の概念整理など、子どもの主体性や人権を具体的に支援しようとした時に出会う諸課題と格闘している本です。</p>
--	--

<p>81</p> 	<p>ライフコースの社会学 (岩波講座現代社会学:9) / - 岩波書店, 1996.3</p> <p>生活と人生の研究で陥りやすい5つの誤謬(200-201頁参照)の5番目はつついちゃってしまいそうです。</p>
---	---

<p>82</p> 	<p>教師の発達と力量形成 (教師のライフコース研究:続) / 山崎準二著 - 創風社, 2012.4</p> <p>ライフコース、ライフヒストリー、ライフサイクル等の言葉がごちゃごちゃしてきた方は、30-34頁の概念整理をご覧ください。</p>
---	---

83-84 	省察的実践とは何か：プロフェッショナルの行為と思考 / ドナルド・A・ショーン著 - 鳳書房, 2007.11 専門家の知恵：反省的実践家は行為しながら考える / ドナルド・ショーン [著]/佐藤学, 秋田喜代美訳 - ゆみる出版, 2001.5
教師という職業は技術的熟達とは違う構造を持っています。同じ本が別の訳者で発行されているということからも、教育学における省察的（反省的）実践への関心の高さが伺えます。佐藤・秋田訳は教職に関連が深い章の抜粋訳、柳沢・三輪監訳版は全訳です。	

## 量的あるいは質的な研究方法論

85 	アクティヴ・インタビュー：相互行為としての社会調査 / ジェイムズ・ホルスタイン, ジェイバー・グブリアム著/山田富秋 [ほか] 訳 - せりか書房, 2004.10 インタビュー調査で論文を書こうとする人は、全てのインタビューはアクティヴなインタビューであるという本書の主張と向き合わなければなりません。「客観的に尋ねて、ありのままに聴き出す」ということは、はたして可能なのでしょうか。
---	---

86 	KJ 法：渾沌をして語らしめる / 川喜田二郎著 -- 中央公論社, 1986.11 本格的なKJ法の事例が5枚の応用紙の付録になっていますので、まずはこれをテーブルに広げてみてください。圧巻です。KJ法のイメージが変わります。
--	---

87 	「社会調査」のウソ：リサーチ・リテラシーのすすめ（文春新書:110） / 谷岡一郎著 - 文藝春秋, 2000.6 社会調査が嫌いな人はこんな本は書きません。本物の社会調査の社会への大きな貢献を知る著者だからこそ、誤解された・捏造された調査と報告が許せないのです。
---	---

88 	データはウソをつく：科学的な社会調査の方法（ちくまプリマー新書:059） / 谷岡一郎著 - 筑摩書房, 2007.5 統計を使った調査につきまとうバイアス（偏見）を意識化してくれる本です。
---	--

<p>89</p> 	<p>人文・社会科学のための研究倫理ガイドブック / 眞嶋俊造, 奥田太郎, 河野哲也編著 - 慶應義塾大学出版会, 2015.10</p> <p>研究協力者から仲間として認めてもらうことを優先するべきか、書面で研究参加への同意を得ることが大事か、悩みどころです (27-28 頁参照)。</p>
<p>90</p> 	<p>SPSS によるやさしい統計学 第2版 / 岸学著 - オーム社, 2012.5</p> <p>SPSS というのは統計処理ソフトウェアのことです。手順を一通り学んでおくと、統計処理で何ができて何ができないのかがわかるようになります。</p>
<p>91</p> 	<p>教育実践データの統計分析：学校評価とよりよい実践のために / 奥村太一著 - 共立出版, 2012.11</p> <p>「学習意欲を高めると学力が向上する」かどうかを例に相関関係と因果関係の違いを説明した箇所 (18-20 頁) などは実践家にも読んでほしい。</p>
<p>92</p> 	<p>数字で語る：社会統計学入門 / ハンス・ザイゼル著/佐藤郁哉訳 - 新曜社, 2005.3</p> <p>質的研究を採用する人にも第 11 章と第 12 章の「理由分析」の一読を勧めます。原題は『社会の現実の姿を数字で伝えよう』とのことです (訳者まえがき, i 頁)。</p>
<p>93</p> 	<p>偶然を飼いならす：統計学と第二次科学革命 / イアン・ハッキング著/石原英樹, 重田園江訳 - 木鐸社, 1999.5</p> <p>統計学の歴史と勘所が学べます。たとえば、ヴィルヘルム・グントの「恋愛が心理学的法則に従うことを最初に示したのは統計学である」という言葉を挙げながら、「非決定論が優勢になるほど制御可能性が高まるといパラドックス」が説明されています (4 頁)。</p>
<p>94</p> 	<p>データ社会を生き抜くための武器と教養 (統計学が最強の学問である:[正編]) / 西内啓著 - ダイヤモンド社, 2013.1</p> <p>「ミルクが先か、紅茶が先か」の論争にランダム化比較実験で決着をつけようとしています (100 頁~)。</p>

<p>95</p> 	<p>実証分析入門：データから「因果関係」を読み解く作法 / 森田果著 - 日本評論社, 2014.6</p> <p>目次で各章の主題と副題を比べ読みしてみてください。お勧めは、第16章「因果効果の推定：あんなのただの飾りです。偉い人にはそれがわからんのですよ。」です。</p>
---	---

<p>96</p> 	<p>「解釈」と「分析」の統合をめざす文学教育：新しい解釈学理論を手がかりに / 鶴田清司著 -- 学文社, 2010.3</p> <p>この本は電子書籍で利用してみてください。H. G. ガダマーなどの解釈学の知見をもとに日本の国語教育実践を再検討しています。</p>
---	---

### \* 電子書籍の使い方

- 学内 LAN 端末からなら、OPAC で検索し、“electronic bk”の書誌を開いて、「電子資料を表示」のボタンを押します。
- 学内 LAN の外（自宅の端末やタブレット）からは、一度、学内 LAN 端末で登録すれば使えるようになります。タブレットにダウンロードしておけば通学中に読むこともできますよ。詳しくは図書館で配付しているパンフレット「電子図書始めませんか？」（平成28年度サポーター制作パンフレット）をご覧ください。



<p>97</p> 	<p>社会的経験と人間の科学（概念分析の社会学:[1]） / 酒井泰斗 [ほか] 編 -- ナカニシヤ出版, 2009.4</p> <p>触法精神障害者は裁判を受ける権利があるでしょうか。また、処罰を受けることになるでしょうか。（第4章参照）</p>
---	---

<p>98</p> 	<p>調査研究法ガイドブック：教育における調査のデザインと実施・報告 / S・B・メリアム, E・L・シン普森著 - ミネルヴァ書房, 2010.7</p> <p>「少数のランダムでないサンプルの研究結果がどれだけ信頼できるかは、研究の内的妥当性と信頼性、そして外的妥当性しだいなのである」（117頁）。</p>
---	--

<p>99</p> 	<p>子ども理解のメソッドロジー：実践者のための「質的实践研究」アイデアブック / 中坪史典編 - ナカニシヤ出版, 2012.6</p> <p>幼児保育の現場を舞台に、質的研究の入門事例が豊富に描かれています。KJ法やエピソード記述などの要点だけではなく、現場の音にこだわったサウンド・エスノグラフィーなどのハッとさせられる研究方法も紹介されています。</p>
---	---

100		インタビューの社会学：ライフストーリーの聞き方 / 桜井厚著 - せりか書房, 2002.1 「〈語れ〉と要請するインタビューの場で〈語るな〉という要請もしていること」(268頁)はありませんか？
-----	---	---

101		グラウンデッド・セオリー・アプローチ：質的実証研究の再生 / 木下康仁著 - 弘文堂, 1999.11 3派に分裂したGTAを、単なる分析の技法としてではなく、研究方法論として捉え直そうとした本です。
-----	---	---

102		弁証法：自由な思考のために (中公新書:322) / 中埜肇著 -- 中央公論社, 1973.4 「弁証法とは正・反・合だろ」「なんでもアウフヘーベンか」と誤解している人は、その多様性に驚かされるはずです。
-----	---	--

## 科学哲学・現象学・解釈学

103		99.9%は仮説：思いこみで判断しないための考え方 (光文社新書:241) / 竹内薫著 - 光文社, 2006.2 NHK教育の科学情報番組『サイエンス・ゼロ』の司会をしている竹内氏による科学史の入門書です。仮説ではない0.1%は何なのでしょう。
-----	--	---

104		科学哲学入門：科学の方法・科学の目的 (Sekaishiso seminar) / 内井惣七著 - 世界思想社, 1995.5 科学について哲学するための体系だった濃密な教科書としてお勧めです。後半では統計や確率における主観的側面にも言及されています。
-----	---	---

105		パラダイムとは何か：クーンの科学史革命 (講談社学術文庫:[1879]) / 野家啓一 [著] - 講談社, 2008.6 裁判劇に見立ててパラダイム論を紹介する第5章は特に読み応えがありました。
-----	---	---

<p>106</p> 	<p>アブダクション：仮説と発見の論理 / 米盛裕二著 - 勁草書房, 2007.9</p> <p>推論の方法には帰納法と演繹法がある、だけではなくて、アブダクション（仮説発見法）もあるのです。論理の飛躍は、欠陥ではなくて、仮説生成の源泉かもしれません。</p>
--	---

<p>107</p> 	<p>黄泉の時空から：天才科学者の肖像 (NHK アインシュタイン・ロマン:1) / NHK アインシュタイン・プロジェクト著 - 日本放送出版協会, 1991.4</p> <p>「経験をいくら集めても理論は生まれない」と物理学者アインシュタインは喝破します (71 ページ)。研究方法論としても興味深い論者が並びますが、平和と科学という視点からも見直してみたいシリーズ本 (全6冊) です。</p>
--	--

<p>108</p> 	<p>疑似科学と科学の哲学 / 伊勢田哲治著 - 名古屋大学出版会, 2003.1</p> <p>科学と疑似科学との違いを検証しながら、例えば「統計的に有意とは？」(214 頁～) といった基本的な原理も学ぶことができます。</p>
--	--

<p>109</p> 	<p>科学的とはどういうことか (いたずら博士の科学教室) / 板倉聖宣著 - 仮説社, 1977.5</p> <p>マッチ箱と 10 円玉の実験 (71-83 頁参照) で全体よりも部分が重くなる、を体験したい方は、宮原研究室(A 研究棟 101 号室)までおいでください。</p>
--	--

<p>110</p> 	<p>科学のこれまで、科学のこれから (岩波ブックレット:no. 902) / 池内了著 - 岩波書店, 2014.6</p> <p>新発見ではない地味で時間がかかる研究分野 (17 頁参照) や「曖昧な科学知しか得られない科学」 (49 頁) の重要性を噛みしめたい。</p>
--	---

何やら自慢気な宮原先生。手にしているのは先生の娘さんが描いたタマゴマンです。→



<p>111</p> 	<p>本当はわかる哲学：フシギなくらい見えてくる! / 山竹伸二著 - 日本実業出版社, 2011.8</p> <p>頻繁だが控えめな図解が理解を助けます。『認められたいの正体』の著者でもある山竹伸二氏の背景学問がここに書かれています。</p>
<p>112</p> 	<p>はじめての哲学史：強く深く考えるために（有斐閣アルマ:Interest） / 竹田青嗣, 西研編 - 有斐閣, 1998.6</p> <p>筆者は「心理学や社会学において理論が対立して決着がつかないときには、『どちらが客観的に正しいか』と考えてはならない」（228頁）と言います。なぜ?では、どうしたらいいの?</p>
<p>113</p> 	<p>現象学的心理学への招待：理論から具体的技法まで / ダレン・ラングドリッジ著/田中彰吾, 渡辺恒夫, 植田嘉好子訳 - 新曜社, 2016.7</p> <p>「現象学に示唆を得たナラティブ分析では、主題に語らせること— すなわち、あらかじめ決まった意味の枠組みを押しつけることよりも、現れるがままの物語の構造と形式に焦点を合わせること— が最も重要である。</p>
<p>114</p> 	<p>人間科学におけるエヴィデンスとは何か：現象学と実践をつなぐ / 小林隆児, 西研編著/竹田青嗣, 山竹伸二, 鯨岡峻著 - 新曜社, 2015.9</p> <p>幼児教育や特別支援教育や医療の中で質的研究を用いて悩みを解き明かすための理論的な基盤となる本です。</p>
<p>115</p> 	<p>現象学入門 (NHK ブックス:576) / 竹田青嗣著 - 日本放送出版協会, 1989.6</p> <p>この本に掲載された図解のいくつかは大学院の「臨床教育学質的研究法」の資料でも引用しています。</p>
<p>116</p> 	<p>現象学ことはじめ：日常に目覚めること 改訂版 / 山口一郎著 - 日本評論社, 2012.10</p> <p>「触れる手と触られる手」（207頁～）を手がかりに、心身二元論を超える試みが展開されています。</p>
<p>117</p> 	<p>現代現象学：経験から始める哲学入門（ワードマップ） / 植村玄輝, 八重樫徹, 吉川孝編著/富山豊, 森功次著 - 新曜社, 2017.8</p> <p>知覚、想像、想起……と「体験」をくっきりと分類していく第2章は特に必見です。</p>



118		異化 / エルンスト・ブロッホ[著]；船戸満之 [ほか] 訳 -- 白水社, 1997.1
		17-21 頁の「鏡なしの自画像」を実際に自分でも描いてみましょう。自分が見ていると思っている世界は、直接に見ている世界のままではないことが実感できると思います。

119		意識する心：脳と精神の根本理論を求めて / デイヴィッド・J・チャーマーズ著/林一訳 - 白揚社, 2001.12
		哲学的ゾンビが 128 頁あたりに出没します。あなたは退治（対峙）することができるでしょうか。

120		ヨーロッパ諸学の危機と超越論的現象学 (中公文庫) / エドムント・フッサール著/細谷恒夫,木田元訳 - 中央公論社, 1995.6
		そもそもは生の実感を補う立場だったガリレオ・ガリレイにはじまる科学の数値化が、かえって私たちの生活世界の実感を疎外するようになった時代の研究のあり方を提案している本です。現象学を打ち立てたエドムント・フッサールの最晩年の著作です。ナチス・ドイツの焚書を辛くも免れて出版されました。

121		ガダマー入門：語りかける伝統とは何か / 巻田悦郎著 - アルテ/星雲社 (発売), 2015.9
		偏見や先入見は大事です。「先入見がなければ了解は不可能」(51 頁)です。現在は馴染み深く、「過去は新しい」(52 頁)のです。

122		図説・現代哲学で考える「心・コンピュータ・脳」(京大人気講義シリーズ) / 宮原勇著 - 丸善, 2004.9
		意識を持つとはどういうことかが「箱の中のカブトムシ」(49 頁～)や「中国語の部屋」(125 頁～)の思考実験を使って解説されています。

123		図説・現代哲学で考える「表現・テキスト・解釈」(京大人気講義シリーズ) / 宮原勇著 - 丸善, 2004.3
		解釈学についての入門書として最適だと思います。近代絵画の遠近法は作者の視点(位置情報)を記録しているのですね。なお、苗字が同じですが、著者は紹介者の親戚等ではありません。

宮原先生、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

発行:北海道教育大学附属図書館札幌館 2017 年 11 月 30 日

